



2020年3月期 第3四半期

連結決算の概要

テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 CEO 佐藤 慎次郎

問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : kouhou_terumo01@terumo.co.jp

URL : <https://www.terumo.co.jp/>

2020年2月6日

2020年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社
Chief Accounting and Financial Officer
武藤 直樹

2020年2月6日

売上と調整後営利がQ3累計として過去最高

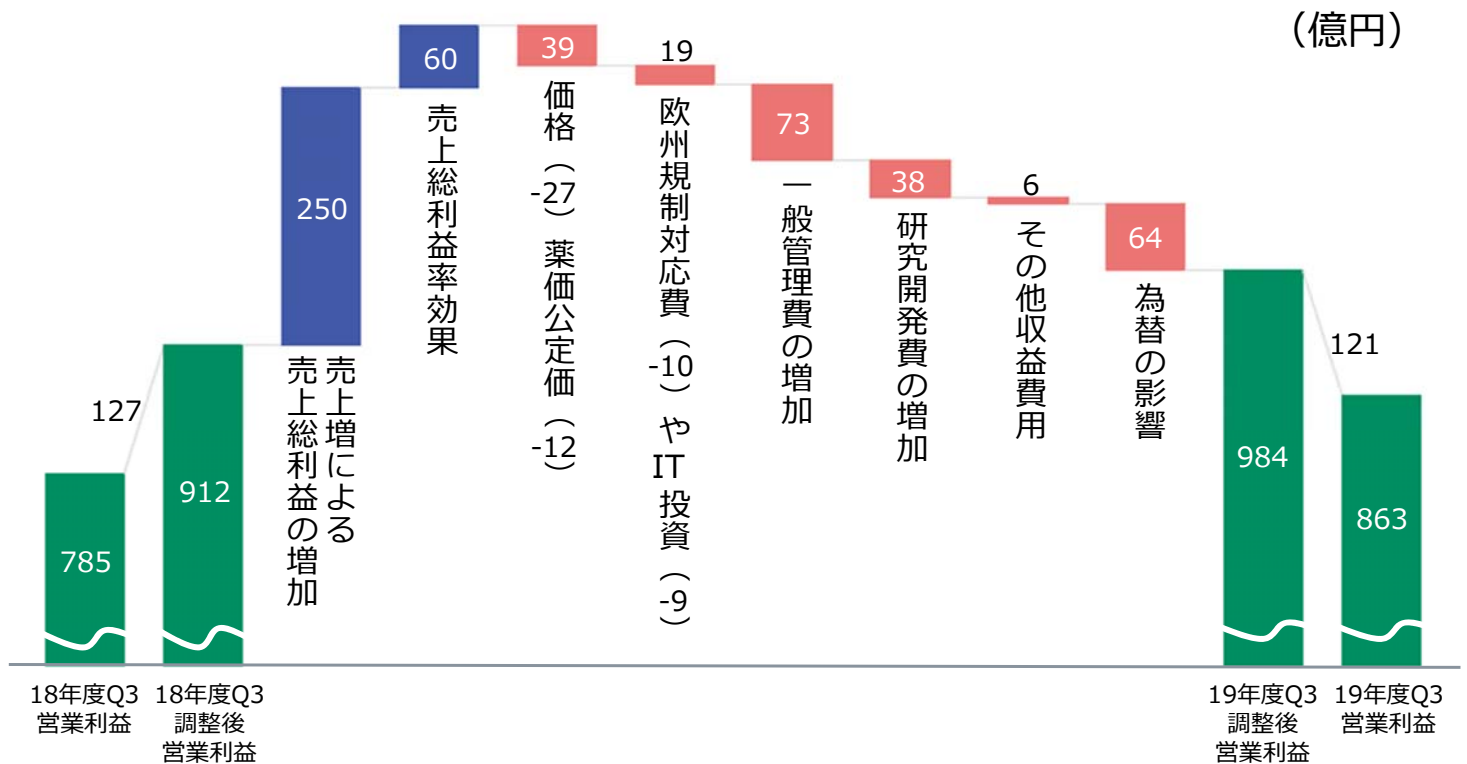
(億円)

	18年度Q3累計	19年度Q3累計	増減率	為替除く 増減率
売上収益	4,436	4,701	+6%	+9%
売上総利益	2,422 (54.6%)	2,586 (55.0%)	+7%	+11%
一般管理費	1,320 (29.8%)	1,368 (29.1%)	+4%	+7%
研究開発費	360 (8.1%)	370 (7.9%)	+3%	+5%
その他収益費用	44	15	-	-
営業利益	785 (17.7%)	863 (18.3%)	+10%	+18%
調整後営業利益	912 (20.6%)	984 (20.9%)	+8%	+17%
税引前利益	750 (16.9%)	855 (18.2%)	+14%	
当期利益	565 (12.7%)	669 (14.2%)	+18%	

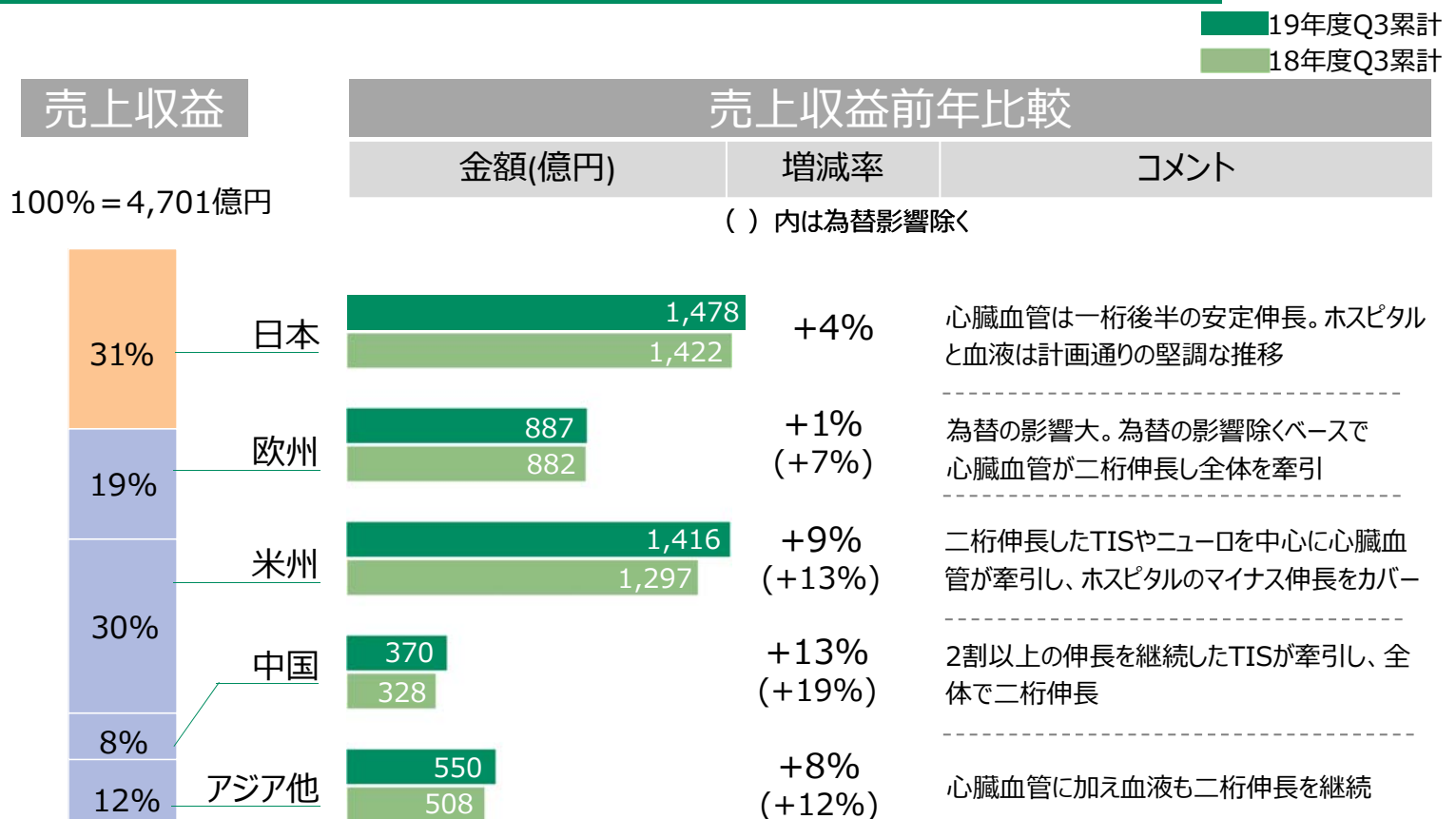
期中平均レート
USD 111円 109円
EUR 129円 121円

- 売上収益 : 全カンパニーでプラス伸長を継続。TISとニューロが二桁伸長を継続し全体を牽引
- 調整後営業利益 : 為替の影響を除くベースで二桁伸長を継続
- 税引前利益 : 前年同期の為替差損32億円に対し、今年度は差損8億円と縮小

調整後営業利益増減分析



地域別売上収益



カンパニー別売上収益

19年度Q3累計
18年度Q3累計

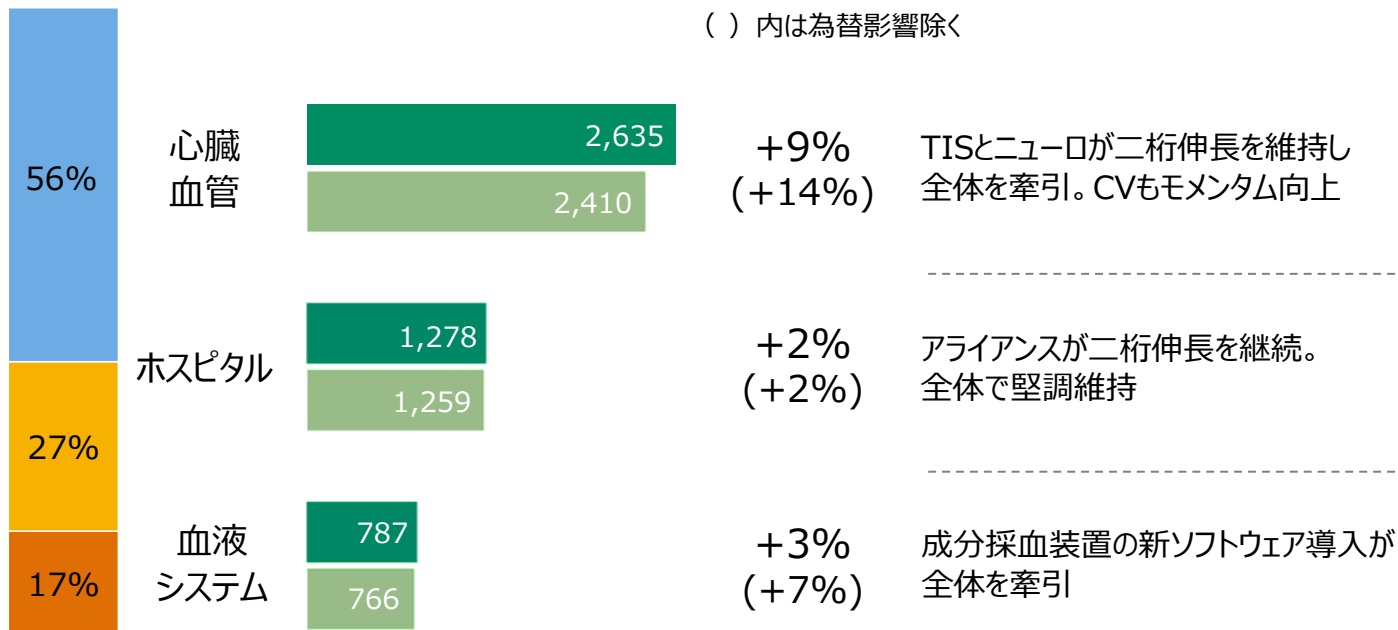
売上収益

100% = 4,701億円

売上収益前年比較

金額(億円) 増減率 コメント

() 内は為替影響除く



心臓血管：全事業がプラス伸長。二桁増益を継続

(億円)

	18年度Q3累計	19年度Q3累計	増減率	主なトピック	金額
売上収益	2,410	2,635	+9% (+14%)	TIS : 海外で二桁伸長を継続 ニューロ : グローバルで「WEB」やストローク製品が牽引し二桁伸長を継続 CV : 人工肺が牽引しモメンタム向上 血管 : 国内直販移行や海外の組織再編は順調	+156 +51 +12 +6
調整後営業利益(率)	580 (24%)	688 (26%)	+18% (+28%)	TISやニューロの売上拡大による利益増。 TIS全般とニューロの「WEB」が売上好調な為一部費用は遅めの進捗	

ホスピタル：計画通りの売上・利益進捗

(億円)

	18年度 Q3累計	19年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	1,259	1,278	+2% (+2%)	医療器 : インドネシア皆保険財政難等 医薬品 : 疼痛緩和や癒着防止材が 二桁伸長を継続 アライアンス : 計画通りの進捗	-7 +11 +15
調整後 営業 利益 (率)	223 (18%)	198 (16%)	-11% (-9%)	計画通りの推移	



7/10

血液システム：為替の影響を除くベースで堅調な推移

(億円)

	18年度 Q3累計	19年度 Q3累計	増減率	主なトピック	金額
() 内は為替影響除く					
売上 収益	766	787	+3% (+7%)	血液センター : 成分採血装置の 新ソフトウェアが牽引 アフレス治療 : 先進国は後継装置への切替の 反動。アジアや南米は二桁伸長	+21 +2
調整後 営業 利益 (率)	109 (14%)	104 (13%)	-4% (+11%)	為替の影響大。 計画通りの利益進捗	



8/10

主なトピックス

全社

- 24年連続でグッドデザイン賞を受賞(10月)
- 台風第19号被災地支援として日本赤十字社を通じ義援金を寄付(10月)
- 「テルモグループ人権方針」を制定(12月)



閉鎖式薬剤移注システム「ケモセーフロック」



パルス方式キセノン紫外線照射ロボット「LIGHTSTRIKE」



経口栄養補助食品「テルミールアップリードmini」

事業

- スプレー式癒着防止材「アドスプレー」の小容量品を発売(10月)
- 細胞製剤の充填・仕上げシステム「FINIA」を発売(10月)
- カスタムメイド・ステントグラフトの設計ソフト技術を持つ米アオルティカ社買収(11月)
- 旭化成ファーマ社から「PLAJEX」使用の骨粗鬆症治療剤が発売(12月)
- 脳動脈瘤治療用ステント「FRED」、米国で販売承認取得(12月)
- 袋状脳動脈瘤塞栓デバイス「Woven EndoBridgeデバイス」が日本で製造販売承認取得(12月)



充填・仕上げシステム「FINIA」



「テリボン 皮下注28.2μgオートインジェクター」



袋状脳動脈瘤塞栓デバイス「Woven EndoBridgeデバイス」

19年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ	領域	製品	地域	ローンチ
アクセス	ディスタラジアル用止血デバイス	日	FY20	医療器	次期シリンジポンプ	日	Q4
心臓	PTCAバルーン	欧亜	済み	医薬品	麻酔用鎮痛剤 (フェンタニル注射液)	日	済み
ペリフェラル	ステント (TRI)	日米	済み		癒着防止材 (アドスプレー・ミニ)	日	済み
脳	袋状塞栓デバイス (WEB)	米	済み	DM・ヘルスケア	持続血糖測定器	日	済み
	中間カテーテル (Sofia EX)	欧米	済み		血糖測定システム	日	Q4
	ミニ・バルーン	欧米	済み		パッチ式インスリンポンプ	日	済み
	血栓吸引カテーテル	日	済み		次期血圧計	日	済み
	ステントリバー	日	済み		次期体温計	日	Q4
CV	次世代人工肺	日	FY20	血液	細胞治療用充填・仕上げシステム (FINIA)	グローバル	済み
	人工心肺装置(再出荷)	日	FY20				
血管	大口径人工血管 (トリプレックス・アドバンスド)	日	Q4				

2020年3月期 第3四半期決算 補足資料 (IFRS)

セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年比

	2019年3月期 第3四半期累計			2020年3月期 第3四半期累計					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
TIS	24,176	139,400	163,577	25,652	6.1%	153,559	10.2%	179,212	9.6%
ニューロバスキュラー	2,419	27,186	29,606	2,887	19.3%	31,847	17.1%	34,735	17.3%
カーディオバスキュラー	7,487	25,550	33,037	7,624	1.8%	26,614	4.2%	34,239	3.6%
血管	1,289	13,446	14,735	2,013	56.2%	13,272	-1.3%	15,286	3.7%
心臓血管カンパニー	35,373	205,584	240,957	38,178	7.9%	225,294	9.6%	263,473	9.3%
医療器	38,864	19,822	58,686	38,929	0.2%	19,070	-3.8%	58,000	-1.2%
D&D	33,967	-	33,967	35,212	3.7%	-	-	35,212	3.7%
DM・ヘルスケア	15,954	2,312	18,266	15,848	-0.7%	2,269	-1.9%	18,118	-0.8%
ホスピタルシステム小計	88,785	22,135	110,921	89,991	1.4%	21,340	-3.6%	111,331	0.4%
アライアンス	8,967	5,980	14,947	10,482	16.9%	5,971	-0.1%	16,454	10.1%
ホスピタルカンパニー	97,753	28,116	125,869	100,474	2.8%	27,311	-2.9%	127,786	1.5%
血液システムカンパニー	8,950	67,640	76,591	9,022	0.8%	69,695	3.0%	78,717	2.8%
その他	168	22	190	168	-0.2%	-	-	168	-12.0%
計	142,245	301,364	443,609	147,842	3.9%	322,302	6.9%	470,144	6.0%

(期中平均為替レート)

(USD1=¥111.14)
(EUR1=¥129.47)

(USD1=¥108.65)
(EUR1=¥121.04)

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計
営業キャッシュ・フロー	57,475	73,324
投資キャッシュ・フロー	△ 48,242	△ 57,119
フリーキャッシュ・フロー	9,233	16,205
財務キャッシュ・フロー	△ 19,735	△ 24,409
現金及び現金同等物の換算差額	3,733	△ 1,822
現金及び現金同等物の増減	△ 6,769	△ 10,027
現金及び現金同等物の期首残高	167,832	122,982
現金及び現金同等物の期末残高	161,063	112,955

参考情報

	2019年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 第3四半期累計	2020年3月期 業績予想
研究開発費	36,040	37,037	50,000
設備投資額	35,707	63,081	75,000
減価償却費及び償却費 ^{*1}	32,649	38,240	49,000
基本的1株当たり当期利益(円) ^{*2}	77.67	89.64	108.34

*1 2020年3月期業績予想にはIFRS第16号「リース」の適用による償却費の組み替えは含めておりません。
2020年3月期第3四半期累計には当該影響を含んでおります。当該影響を含まない場合、2020年3月期第3四半期累計は34,894百万円になります。

*2 当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「基本的1株当たり当期利益」を算定しております。
当社が発行した転換社債型新株予約権付社債について、当四半期末までに一部権利行使による株式への転換が行われました。「基本的1株当たり当期利益」の業績予想については、この影響を考慮して計算しております。

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。